



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5680 FAX.025-520-5853

ホームページ⇒

ふるさと上越



2022.7.18(月) 撮影 小坂恵美さん

「たより」No.280 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越.....	3
・上越の行事・展示会	
・上越の話題「ウクライナ難民を支援する市民の会」の立ち上げ	
DNA上越.....	5
坂口謹一郎 博士	
発酵学の父 坂口謹一郎顕彰会 (岩の原葡萄園業務部 渡辺真守)	
会員ひろば.....	7
頸城鉄道 軽便の思い出	小杉和代
上越産品販売のお知らせ	7
鯉橋師匠高座予定	8
上越市からのお知らせ.....	8
「上越で働く」U・Iターン個別相談会の開催	
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ
「ふるさと上越ネットワーク」では、
「たより」を全ページカラーでご覧
いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は602名(7月1日現在)です。(令和4年度目標610名)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和4年6月) 125点 226,320円 (前年同月 159点 210,119円)

1. 令和4年度定時総会の表決報告

令和4年度定時総会は、コロナ禍により、書面決議の方法により行なわれました。期限までに投函されたお葉書による表決個数は102個でした。その全ては賛成ないし議長への委任で、反対は0個でした。未投函の議長委任票と合せて、全議案は承認されましたことをご報告いたします。

お葉書には、Jネットへのたくさんの激励、応援のお言葉やアドバイスをいただき、まことにありがとうございました。心強く感じております。理事や運営委員全員に配布し、今後の運営に役立ててまいります。

2. サロンは、令和4年6月9日（木）、7月14日（木）オンラインで開催

次回は、令和4年8月11日（木・祝）次々回は9月8日（木）。ぜひご参加下さい。

6月と7月のサロンも、少人数での飲み会や日常生活から始まり、ふるさと行き、ハイブリット大茶会、同窓会（北城高）や海外旅行の復活、小学校での音楽指導、相続や実家処分、魚住レシピ集発行、不用品片付け業などなど話は多岐にわたりました。なかでも、国境を接するアルメニアの苦難や訪日外人からみた日本の遅れや人材育成教育の不足、それに、最近話題のJW宇宙望遠鏡などは興味深く伺いました。



6月9日、7月14日
オンラインサロンへ参加のみなさん

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催、全国どこからでも参加でき、アルコール片手に、中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。ご参加大歓迎。

次回：令和4年8月11日（木・祝）、9月8日（木）。いずれも17：15－19：00。（オンライン開催）。

お申込み：事務局宮里 (k.miyazato@araipt.co.jp) まで。URLをお届けします。

ご参加は超簡単、届いたURLクリック2回で参加できます。未体験者には、事前に操作方法もお手伝いしますのでお気軽にご参加ください。

【実際のサロンの再開】

目下、再開を検討中です。ご意見を頂戴できれば幸いです。再開は、「たより」、HP（ホームページ）をご覧ください。事務局にお問合せください。

3. 秋の交流会の開催可否を検討中 8月の運営委員会にて決定します。

運営委員会にて、コロナ禍で中止となった今春の上越での交流会に代わり、秋の交流会開催を検討中です。

会員の皆様からの開催のご要望があり、できる限りお応えしたいのですが、7月中旬時点でコロナウイルス新規感染急拡大に直面し、決定しておりません。8月11日開催の運営委員会にて最終決定を行い、たより8月25日号やHPにてお知らせします。事務局でもご照会をお受けします。

4. 是非とも、ご寄稿ください。— 当会創立25周年「たより」特別号への寄稿 —

当会は1997年7月30日に創立、本年は、創立25周年を迎えます。その記念事業として「たより」特別号を発行します。会員の皆様にも、「会とご自身のこと、上越について思い出や想いなど」をふるってご寄稿いただきますよう、お願いいたします。寄稿の要領の詳細は、同封のお知らせをご覧ください。

5. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の四季の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連TV放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（JCV）の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください。



「上越タイムス全頁を閲覧する場合は、同紙面から、PDFをクリックしてください。」



とれたて上越

1. 上越の行事・展示会

(1) 高田城址公園観蓮会 開催期間：令和4年8月21日（日）まで。

高田城址公園のハスは戊辰戦争や凶作により貧窮した高田藩の財政を立て直すため、外堀にハスを植えレンコンを育てたことがはじまり。

高田城址公園の外堀、東京ドーム4個分の規模で埋め尽くすハスは、美しさ、規模ともに東洋一とうたわれています。

早朝には堀の随所で、蓮が開花する音が広がります。



2022.718(月) 撮影：小坂恵美さん

(2) 中川・謙信公が見参 ー第 97 回謙信公祭

開催日：8月20日（土）、21日（日）

20日に狼煙上げ、献納米合戦、武禊式、21日は、恒例のメインイベントの出陣行列・川中島合戦の再現を予定。今年の謙信役は中川幹太市長です。

コロナ禍感染対策のため、謙信公祭子どもみこしパレード、謙信公祭大民踊し、謙信公みこし渡御はありません。

今年の上越まつりは、コロナ禍の制限があるものの、ほぼコロナ禍以前のような流儀やスタイルで開催されます。3年ぶりのことです。



上越市提供 出陣行列の様子



上越市提供 中川幹太謙信公

中川市長より

この度、謙信公祭協賛会の皆様から、今年の謙信公役としてご指名をいただきました。

謙信公祭の伝統を「途切れさせず、次の世代へ繋いでいきたい」という皆様の強い思いを汲み、謙信公が唱えた「第一義」の精神、「義の心」を大切に守り、誠心誠意この大役を務めさせていただきます。

(上越観光 Navi / イベントお知らせページより)

(3) 生誕 100 年 斎藤真一展 瞽女と郷愁、さすらい

ー 小林古径記念美術館 開催期間：9月25日（日）まで

岡山県倉敷市生れの斎藤真一（1922年～1994年）は、東京美術学校（現・東京藝大）卒業後に静岡県伊東市で教師を務め、「鶏小屋」で日展初入選。

1959年、斎藤は欧州各地をバイクで巡り、パリで藤田嗣治から「帰国後は東北を旅する」というアドバイスを受ける。帰国後に東北各地を訪れ、津軽旅行中に「瞽女」の存在を知り、瞽女に強く心を惹かれた。そして、1964年から斎藤は瞽女を求めて新潟へ。約10年間にわたる高田瞽女の取材を経て「越後瞽女日記シリーズ」を発表し、数々の賞を受賞。その後の吉原遊女作品や郷愁を誘う人物画など、甘美で叙情的、ロマンティシズムあふれる作品を描いて多くの人々を魅了してきました。

今回の展覧会では、斎藤の代名詞となった「瞽女シリーズ」を中心としながら、初期から晩年までの作品を展示し、画業を振り返ります。

協力：ギャラリー朱雀院、瞽女ミュージアム高田



2. 上越の話題

「ウクライナ難民を支援する市民の会」の立ち上げ

上越人には謙信公から受け継いだ義の心があります。「自分だけ」の風潮の中で、人の痛みを慈しみ、見返りを求めず他人のために尽くす尊い心を誇りとしています。

その上越人の間で、戦禍にさらされているウクライナでの難民を見て見ぬふりはできないとの声があがり、このほど、有志たちの手で、「ウクライナ難民を支援する市民の会」が立ち上がりました。

会は、会長の永島義雄氏（元市議）や石田明義氏（謙信公義の心の会会長）らを中心に、顧問には、木浦・村山両市長経験者、高橋商工会議所会頭、それに橋本真孝氏（上越市社会福祉協議会会長）が加わり、多彩な分野の市民が参加しています。

その活動の1つとして、同会は、7月2日（土）、高田城址公園オーレンブラザにて、チャリティ市民フォーラムを開催、上越出身で、義の心で平和外交を貫いた芳澤謙吉翁、ならびに芳澤翁の孫で国連難民高等弁務官を務め、難民問題に取り組んだ緒方貞子氏についての講演、それにウクライナ出身のオーリャさんのアトラクションや東日本大震災支援活動のカズさんのマジックショーなどが行われました。

参加者は400名にもものぼり、ウクライナの平和を祈る中、多額の浄財が寄せられました。まさに「義を見てせざるは勇なきなり」の心意気です。これらの浄財は、緒方貞子氏由縁の国連難民高等弁務官事務所に届けられます。

その勇に拍手を送り、上越をふるさととするものとして、同会チャリティにご参加される方は、下記口座まで、ご浄財をお寄せください。

口座：上越信用金庫高田中央支店 普通預金 0589370

「ウクライナ難民を支援する市民の会」代表 永島義雄
お志の金額はいくらでも結構です。9月末まで受け付けています。

連絡・照会先：上越市幸町3-4 永島義雄
TEL 090-4740-5062

尚、お振込みの場合、頂戴した皆様の住所確認ができないため、お礼状はお出しできませんが、10月には、上越市ならびに関係者に向けて、国連難民高等弁務官事務所へのご浄財お届けの報告を行います。



ウクライナ難民支援市民フォーラム
7月2日開催

DNA上越

「酒の博士」として知られる坂口謹一郎博士は、ご存じ、上越市出身。我が国の醸造学泰斗としてだけでなく、文化人としても著名。

その博士の偉業や志を上越の子供たちに伝えるため顕彰会が発足、同顕彰会メンバーの渡辺真守様にご寄稿いただきました。渡辺様は、新潟日報連載小説で川上善兵衛を描いた「葡萄色の夢を追いかけて」の作者です。

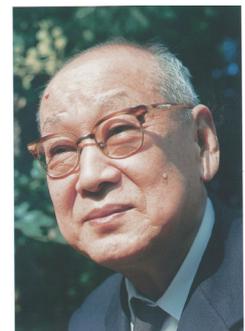
坂口謹一郎 博士

発酵学の父 坂口謹一郎顕彰会（岩の原葡萄園業務部 渡辺真守）

東京大学名誉教授で「発酵学の父」とも称される、上越市の偉人・坂口謹一郎（1897年～1994年）を、ご存じだろうか。

坂口は、微生物のはたらきに着目し醸造・発酵学の礎を築き、今でいうバイオテクノロジーの草分け的な存在となった人物である。

坂口家は代々頸城村字中城新田の地主の家であり、謹一郎は祖父が興した石油事業の製油所があった、現在の上越市東本町で誕生した。高田師範付属小学校から高田中学校へと進むが、小児麻痺を患い、卒業を断念。3年かけて回復した坂口は、東京の順天中学校に編入し、第一高等学校、東京帝国大学農学部へ入学。



坂口謹一郎博士

「上越市提供 撮影：霜鳥一三氏」

頸城鉄道 軽便の思い出

小杉和代 三和区出身 名古屋在住

ふるさと上越ネットワーク 10月発行号に「頸城鉄道眞黒井駅」の写真が載っていました。桑山さんの「エドウィン・ダンがやってきた頃の直江津はどんな街？（その2）」です。写真を見て当時の事を思い出しました。

私は三和区払沢の生まれで小学低学年の頃、姉は直江津の信越化学に勤めており寮生活でした。時折帰省し寮に戻る時、私を直江津の叔母さん家に連れて行ってくれ（夏休み等です。）その時、飯室駅より新黒井まで軽便に乗りました。それも原山という山を1時間以上歩いて一山越え、東頸城郡山本部落に出て飯室駅で軽便に乗るのです。叔母さん家に行けると軽便に乗れるのと嬉しさ一杯で何の苦もなかったように思います。飯室駅の待合所は6畳程で、3人掛けほどの木の椅子が1基置いてありましたが、ほとんど人と居合わせたことはありませんでした。

駅は見通しも良く遠くから走って来る姿が良く見えました。暫くすると、そうです!!この写真(注・桑山さんの写真)の軽便が近づいて来るのです。嬉しさ一杯で乗り込みました。椅子も背もたれも木でしたが、座り心地悪くなかったように思います。

そして私が小学5年生の時、姉は安塚に嫁ぎ、多々軽便に乗る機会に恵まれたのです。家でできた野菜を風呂敷に包んで背中に背負い、原山の山を越え、飯室駅より直江津と反対方向の浦川原まで軽便に乗り浦川原よりバスで安塚へ行きました。

この様に軽便には何度もお世話になりました。65年ほど前の事です。桑山さんのご寄稿によって遠い記憶がよみがえり、当時を偲び懐かしい思い出に浸りました。

桑山さん、ありがとうございました。



上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A4判1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。

日時 8月27日（土）、同28日（日）、
9月23日（金・祝）、24日（土）、同25日（日）
会場 有楽町交通会館1F。開業時間 11:30-17:30

商品内容は決まり次第、JネットHPに掲載します。

- 常設店舗 「雪国商店」 場所 有楽町交通会館1F

営業時間 11:00 - 19:00 年中無休(年末年始は休業)
雪国商店では、少しでもふるさとへ帰った気分を味わっていただくよう、品揃えをしてお待ちしております。ネットで「雪国商店」を検索してください。

♪お問合せ：JCV 東京情報センター 03 (5218) 7730

◇ 7/31(日)浜松寄席「鯉昇一門会(第14回)」
 =柳若改メ春風亭柳雀真打昇進披露興行=
 時 間：午後1時半～4時半 木戸銭：4000円(前売3500円)
 出 演：鯉昇、鯉橋、鯉斗、柳雀ほか
 会 場：サーラシティ浜松(浜松市中区砂山町1107)
 お問い合わせ：053-438-1863(ケイ企画)

◇ 8/11(木)～20(土)池袋演芸場・昼の部 時 間：正午～4時15分ごろ
 ※鯉橋は午後1時ごろの交互出演(出演日要問合せ)
 木戸銭：3000円(65才以上500円引きなど各種割引有り、要問合せ)主 任：鯉昇。ほかに竹丸、南なん、うめ吉など出演。
 問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇ 8/22(月)・23(火)仙台「花座」=鯉昇一門会=
 第一部：午後2時～3時半 第二部：午後6時半～8時
 木戸銭：3000円 出 演：鯉昇、鯉橋、柳雀、鯉丸、鯉白
 会 場：「花座」(仙台市青葉区一番町4丁目4-23)
 お問い合わせ：022-796-0873(花座)

◇ 8/26(金)七人の侍～流浪の落語勉強会～
 (お江戸日本橋亭〈三越前〉)
 午後1時～3時半ごろ、1500円。鯉橋ほか

ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～
<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

上越市からのお知らせ

「上越で働く」U・Iターン個別相談会の開催

U・Iターンに伴う、仕事を中心とした暮らし全般に関する相談をお受けします。ご家族やお知り合いに、U・Iターンを検討している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。

日 時：8月20日(土) 午前10時～午後5時(1人45分間)

場 所：WEB会議システム「Zoom」を使用し、オンラインで開催

対 象：上越市へのU・Iターンを検討している人 募集人数：6人程度

申込締切：8月12日(金)までに電話(025-520-5674)または

メール(jjichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp)で自治・地域振興課へお申し込みください。

その他：相談時刻等は直接申込者へお知らせします。

「上越市を語ろう」—皆様の手で上越市の魅力を発信

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越応援団たる会員の皆様には、広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいのです。

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

ふるさとの懐かしい味をご紹介します。

お正月のゼンマイ入りのお雑煮、炬燵に入っていたたく冬の水ようかん、上越にしかない懐かしい味です。春にはタケノコ汁ですね。鮭缶を入れるのか、いや鯖缶か……。あなたの思い出に残るふるさとのごちそうを400字/件にまとめて是非ご紹介ください。材料やレシピがあればぜひ添えてご紹介ください。

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1,200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれも健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年8月25日の発行です。



上越高校「ユカタ祭り」2022/7/18(月・祝)
 上越妙高駅・自由通路 東口ドームにて
 撮影：松本栄規さん